

楽しく美しい まちづくり通信... 52

ほうりょう 法呂社 占いの石



フジモト アイ子 さん (71歳)
(野々上字中道)

法呂社は、東北地方から関東北部に多く分布するもので、蛇神とも雷神とも言われています。両神とも水を守る神として古来より祭られています。
野々上の法呂社（法呂稲荷神

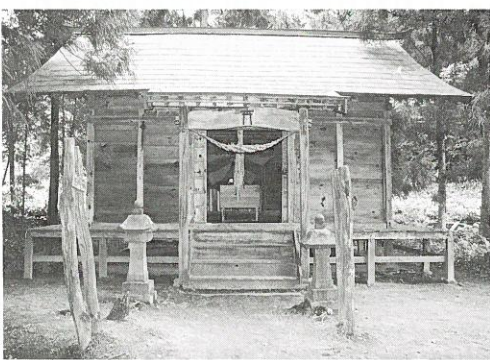
社）は、明治3年の調査記録の中に、「法呂大権現、文政13年（1830）」とあり、また文政4年（1821）に奉納された額や絵馬なども残っていることから、それ以前の元禄又は宝暦年間の飢饉の際に、この地に建立されたものと考えられます。

法呂さまと地域で呼び親しまれるこの神社の例大祭は毎年8月18日に行われています。また、土用の中日には虫追いが行われています。
この周辺一帯は、九流沢と呼ばれ、地名のとおり枝のようにいくつもの沢があります。湧水が豊富なこの沢では古くから米が栽培され、稲の神様としても大切にされています。また、境内には大小十数個の石があり、その中に2つの大きな丸い石があります。1つは直径約25cm位の黒っぽいもの、もう一個は一回り小さく白っぽい色をしています。この石は、豊凶の占いや病気や願いごとを占うときに使ったそうです。大きな石は大人が、小さい方は女性や子供が使うそうです。占いは、簡単で、「願いごとがかなうならばどうか軽くなって下さい。」とお祈りします。願いが通じれば容易にもちあげることができると言われます。
「30年程前に、埼玉の方に嫁いだ女性が、子供が重い病気にかかり困って、郷さ占いの石があることを思い出して、法呂さまに御参りに来たことがあったな。そして何年たったが忘れたけど、しばらくしてそのお母さんが子



占いの石

供と一緒に御参りに来てくれました。法呂さまに願いが通じ、きつと石がお軽くなって持ち上げることができたのでしよう。」と地元に住む藤本アイ子さんが当時のことを思い出し、話してくれました。
藤本さん宅は、法呂社の別当さんで、自宅にも占いの石が2個大切に保存されています。



法呂社

こよみ



9月11日～10月10日

★9月★

- 11日(木) 市民生活相談(市役所市民相談室)
- 12日(金)
- 13日(土)
- 14日(日)
- 15日(月) 敬老の日
- 16日(火) 4カ月児健康診査(市保健センター)
- 17日(水)
- 18日(木) 法律相談(市役所市民相談室)
- 19日(金)
- 20日(土) 彼岸の入り、空港の日、動物愛護週間
- 21日(日) 秋の全国交通安全運動
- 22日(月)
- 23日(火) 秋分の日(二四節 気)
- 24日(水) 結核予防週間
- 25日(木) 税務巡回相談(市保健センター)
- 26日(金)
- 27日(土)